

平成17年度予算主要施策について

平成17年度予算につきましては、今日における国・地方を取り巻く厳しい財政環境のなかで、地方分権時代に対応した自主・自立の行財政運営を基本におきながら、編成にあたったところです。

また、私の市長就任3年目の折り返しの年であるとともに、財政健全化対策の3年次目でもありますことから、施策の重点化を図る一方で、「緊急性なものを除き新規事業の凍結」、「全事業の見直し」、「内部管理経費の抜本的見直しによる徹底した削減」、「投資的経費の抑制」を基本として、足腰の強い安定した財政基盤の構築を目指すこととしたところです。

さらに、当市の特性と優位性を踏まえるとともに、まちづくりの将来方向を見据え、「安心」と「活力」の2つを柱に、重点施策として、「子育て・教育」、「防災対策」、「人材の育成」、「企業誘致」、「観光振興」の各事業を位置付け、「子育て・市民協働により活力が循環する都市づくり」を推進することとしております。

また、新長期総合計画が目指す5つの都市づくりの目標に沿って、広範かつ多岐にわたる課題に対処するとともに、公約の実現に向け最大限の取り組みを進めたところです。

この結果、一般会計総額では、345億8,635万円となり、前年度予算と比べ、32億9,950万8千円、8.7パーセントの減となっております。

また、特別会計では7会計の総額で、176億1,544万2千円となり、前年度予算と比べ、4億2,935万3千円、2.5%の増となっております。

一般会計を含めた8会計の総額では、522億179万2千円となり、前年度予算と比べ、28億7,015万5千円、5.2パーセントの減となっており、緊縮型の「改革・再生予算」として取りまとめたところです。

なお、当初、想定しておりました収支不足額約 14 億 8,400 万円につきましては、財政健全化対策を講ずることにより、基金からの繰入金約 7 億 8,400 万円を見込んでおりましたが、6 億円にまで縮減することができ、大きな課題の一つが達成できたものと考えております。

しかしながら、基金からの多額の繰り入れにより、収支バランスを維持している体質に変わりはないことから、引き続き、財政健全化に向けた取り組みを講じてまいります。

【重点施策】 「人育て・市民協働により活力が循環する都市^{マチ}づくり」

- 1 子育て・教育
- 2 防災対策
- 3 人材の育成
- 4 企業誘致
- 5 観光振興

平成 17 年 2 月 3 日

千歳市長 山口 幸太郎